

介護ロボット全国フォーラム

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について

【内 容】

1. 事業の位置づけ
2. 全体の概要
3. 各事業の実施結果報告(令和4年度)

令和5年1月27日(金)14:00-14:20

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 松本美樹子

令和4年度介護ロボット開発等加速化事業

令和4年度予算（令和3年度当初予算）
5.0億円（5.0億円）
（参考）令和3年度補正予算：3.9億円

- 現場ニーズに沿った介護ロボットの開発・普及促進を目的にプラットフォーム事業にて①相談窓口（地域拠点）、②リビングラボのネットワーク、③介護現場における実証フィールドを整備。リビングラボが中心となり、開発企業に対して実証フィールドを提供し、介護ロボットの開発・普及を加速化するプラットフォームを構築。
- 効果測定事業において介護現場の効率的な人員配置等の政策的課題の解決を目的としたエビデンスデータを蓄積するため、介護ロボットや介護助手等の導入・環境整備による、介護現場の負担軽減・介護サービスの質の向上及び、効率的な人員配置を進める大規模実証を予定。
- 実用化支援事業においては、プラットフォーム事業を補完する各種事業を実施。

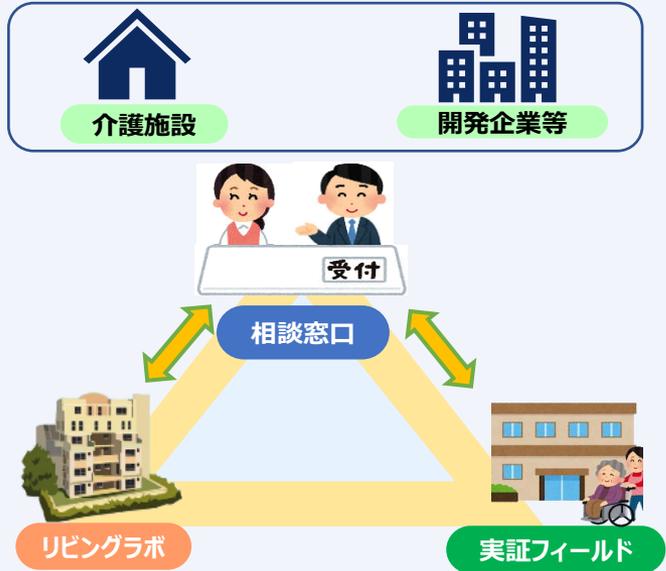
開発・実証・普及のプラットフォーム事業

介護施設・開発企業等からの介護ロボットに係る相談・依頼に対し、相談窓口・リビングラボ・実証フィールドが各機能の特徴を生かし開発・普及に貢献

相談窓口 (地域拠点)	介護ロボットに関する介護施設等からの相談、 開発企業等からの実証相談等へきめ細かに対応
リビングラボ	介護ロボットの開発実証のアドバイザーボード兼 先行実証フィールドとして機能
実証 フィールド	全国の介護施設の協力による大規模実証フィールドにて 開発企業の個別実証依頼に対応

効果測定事業

大規模 実証	実証フィールド施設等の協力を得て、 介護ロボット導入の大規模実証を実施、検証
-----------	---



【介護ロボット開発・実証・普及のプラットフォーム】

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

プラットフォーム事業の機能を補完し、介護ロボットの開発・普及の各段階にて必要となる各種支援を実施

- ① **地域フォーラムの開催**
→相談窓口の無い都道府県での介護ロボットの普及を促進

- ② **介護ロボット開発企業連絡会・全国フォーラムの実施**
→各種イベントにてプラットフォーム事業の取組を発信

- ③ **介護ロボット開発・導入の助成金調査、
介護ロボット選定の選定に資する表示項目の策定・周知**
→介護ロボットの開発企業・導入施設に役立つ情報の
調査・策定し、相談窓口を提供

【具体的な取り組み内容(令和4年度)】

相談窓口の設置

介護ロボットの活用や
開発等に関する相談
窓口を開設。

- 電話による相談
- 来協による相談
- オンラインによる相談



実証の場の整備

実証等に協力できる施設・事業所等を
リストアップし、開発の状態に応じて
開発等へつなぐ。

- ホームページにて募集
- モニター調査や開発実証フィールドへの
協力要請（1,270か所）

アドバイスやモニター調査
の実施

開発の早い段階から試作機器等
について、協力できる施設・事業
所等を中心にモニター調査を行う。

- 介護現場と開発企業の意見交換(10件)
- 試作介護機器へのアドバイス支援(15件)
- 介護ロボット等モニター調査(10件)



普及・啓発

国民の誰もが介護ロボットに
ついて必要な知識が得られるよう
普及・啓発を推進していく。

- 介護ロボットメーカー連絡会議
- 介護ロボット等活用ミーティング(5か所)
- 介護ロボット全国フォーラム
- 介護ロボット地域フォーラム(6か所)
- 介護ロボット試用貸出リスト、試用貸出事業
- 介護ロボットの安全利用の推進 等



調査の実施

- 介護ロボットの開発・導入に係る助成事業の調査(5月、11月 年2回実施)
- 介護ロボット導入支援事業等に係る実態調査(11月頃)

【具体的な取り組み内容(令和4年度)】

相談窓口の設置

介護ロボットの活用や
開発等に関する相談
窓口を開設。

- 電話による相談
- 来協による相談
- オンラインによる相談



実証の場の整備

実証等に協力できる施設・事業所等を
リストアップし、開発の状態に応じて
開発等へつなぐ。

- ホームページにて募集
- モニター調査や開発実証フィールドへの
協力要請（1,270か所）

アドバイスやモニター調査
の実施

開発の早い段階から試作機器等
について、協力できる施設・事業
所等を中心にモニター調査を行う。

- 介護現場と開発企業の意見交換(10件)
- 試作介護機器へのアドバイス支援(15件)
- 介護ロボット等モニター調査(10件)



普及・啓発

国民の誰もが介護ロボットに
ついて必要な知識が得られるよう
普及・啓発を推進していく。

- 介護ロボットメーカー連絡会議
- 介護ロボット等活用ミーティング(5か所)
- 介護ロボット全国フォーラム
- 介護ロボット地域フォーラム(6か所)
- 介護ロボット試用貸出リスト、試用貸出事業
- 介護ロボットの安全利用の推進 等



調査の実施

- 介護ロボットの開発・導入に係る助成事業の調査(5月、11月 年2回実施)
- 介護ロボット導入支援事業等に係る実態調査(11月頃)

介護施設と開発企業のマッチングを図る

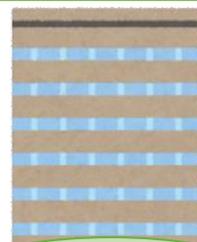
【開発企業】



○自分たちが持っている技術が介護現場で役立てられるかな？

○実際の現場でモニター調査をおこなってみたい。

テクノエイド協会



マッチング支援

【介護施設】



○機器開発に参加して、貢献してみたい。

○これから導入を考えているけど、新しい技術や機器を体験してみたい。

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場でのモニター調査等を行い、介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。

開発段階に応じた3つの事業を実施

A. 介護現場と開発企業の
意見交換実施事業

B. 試作介護機器への
アドバイス支援事業

C. 介護ロボット等
モニター調査事業

着想
段階

開発
段階

上市
段階

・開発機器のコンセプトの構築を図りたい

・構想あるいは試作機器について、現場のアドバイスをもらいたい

・改良点や効果的な活用方法を検討したい

・機器の対象者や適用範囲等を明確にしたい

・介護現場における使い勝手のチェックをしたい

・介護ロボット等の活用に係る具体的な課題やニーズの特定を行いたい

実施期間:

1~2日間

実施期間:

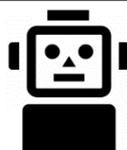
1週間~1ヶ月程度

実施期間:

1ヶ月~6ヶ月程度



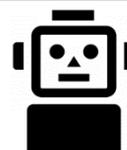
職員



DEMO



職員



DEMO



職員



高齢者

事業へ参加するメリット

【開発企業側】



・企業が持っているシーズを活かすための方法を確認することができる。

・現場の生の声を聞くことができる。

・開発中の試作機器を試し使いしてもらうことができる。

・成果報告の冊子に掲載されるので、幅広くPRすることができる。

・施設と繋がりを持つことができ、モニターや実証の場が広がる。

【介護施設側】



・最新の福祉用具・介護ロボットに触れることができる。

・現場の声を企業に伝えることができる。

・福祉用具・介護ロボットへの職員の関心を高めることができる。

・国の事業に参加することで、職業意識(モチベーション)や施設の魅力を高めることができる。

・実証協力費を得ることができる。

専門職が評価している場面①



専門職が評価している場面②



福祉用具・介護ロボットの開発と普及の作成

福祉用具・介護ロボットの 開発と普及 2021

令和4年3月
厚生労働省
Ministry of Health Labour and Welfare

本書は、開発コンセプト段階の機器から実用化手前の機器において、専門職からのアドバイスやモニター手法および、その結果を示しており、**今後本分野に参入する企業等の一助となるよう情報を収録している。**

第4章 介護ロボット等モニター調査事業

見守り支援システム連携の利用効果と使い勝手の検証

見守り支援 見守り支援システム「監りSCAN Viewer」機器連携ソリューション

機器の概要
各機器・システムの情報を集約し、介護の生産性を向上

※監りSCAN (NN-1520) 医療機器製造販売承認番号: 12B1X1002000128

「監りSCAN Viewer」連携機能
「安診ネットOne」連携機能
「クリアークカム」連携機能

モニター調査の概要

システム連携の利用効果と使い勝手を検証

- 目的
見守り支援システムと他機器・システムが連携することで、それぞれが単独で提供できる価値に加え、1つの価値を提供できるかを調査の狙いとする。
- 調査方法
連携システム導入前後においてアンケートおよびヒアリングを実施し、連携システムの利用効果と、使い勝手の調査を実施した。
- 調査期間
①単独利用～2021/1/18～2021/12/15
②連携利用～2021/12/16～2022/1/16

調査事業者：団体
パラマウントベッド株式会社
技術開発本部 事業技術部 事業一課
〒136-8670 東京都江東区豊砂2-14-5
Tel: (03) 3648-1111 (大代表)
HP: <https://www.paramount.co.jp/>

モニター調査協力施設
■社会福祉法人竹清会 特別養護老人ホーム 美郷
〒194-0215 東京都町田市小山ヶ丘 1-2-9

モニター調査の結果
改善点もあるが、システム連携により価値が向上

「安診ネットOne」注意度情報の確認頻度が向上
「安診ネットOne」の注意度情報の確認頻度について、検証期間中に確認したと回答した職員が単独利用時は日中43%・夜間50%のみに対し、「監りSCAN Viewer」上に表示する連携利用時は日中71%・夜間100%になり、確認頻度の向上がみられた。用途としては主に夜間の見守り・通知生時の優先順位付けに利用されていることが頻度の向上に繋がったと考えられる。一方、實際使用している測定機器とは別の機器を使用したことにより、測定・記録の失敗や操作方法がわからないといった意見をいただいたため、運用フォローの改善を図ってきたい。

「インカム連携により、通知時の操作負担軽減
「監りSCAN Viewer」の通知を「クリアークカム」に連携することで、単独利用時に比べ、「監りSCAN Viewer」の通知を把握しやすくなった」との回答を職員56%からいただいた。その理由として、他の利用者対応中でも作業を中断することなく対応されることが挙げられた。また要望としては、インカム通知する利用者の設定変更の簡単化や、スタッフ間の会話の妨げにならないように通知してほしいとの声があった。

■温度センサーの連携
今回の検証では部屋の温度が変更されていたこともあり、有用な意見は得られなかった。

モニター調査開始前調査

使用環境次第でより効果的なツールになる
「安診ネットOne」は利用者の状態を客観的に把握できるため、経験の浅い職員に安心感を与えると思われる。単独利用時に比べ、連携利用時では「監りSCAN Viewer」の画面を確認する時に何も操作することなく情報が目に入ることで自然と注意すべき利用者へ意識を向けやすくなった。動画開始時に利用者の状況把握を行う手間が減り、確認漏れがなくなると感じられる。ただし、利用者の一律的な検温等の業務が負担増加となった。日頃からバイタル測定を行う医療ニーズの高

い施設等では有効なツールになると思われる。「クリアークカム」への「監りSCAN」通知連携については、全対象者の通知を受けると情報が多すぎて、受け取る順番がない情報が入ってきてしまった。通知内容を絞り込めれば、手を使わずに情報を受け取れることは有用であるので、音声通知の設定を簡単に変更できると良いと思われる。
「温度センサー」は室温管理が自分でできない環境の見守りなどで有効ではないかと思われる。

第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章

【具体的な取り組み内容(令和4年度)】

相談窓口の設置

介護ロボットの活用や
開発等に関する相談
窓口を開設。

- 電話による相談
- 来協による相談
- オンラインによる相談



実証の場の整備

実証等に協力できる施設・事業所等を
リストアップし、開発の状態に応じて
開発等へつなぐ。

- ホームページにて募集
- モニター調査や開発実証フィールドへの
協力要請（1,270か所）

アドバイスやモニター調査
の実施

開発の早い段階から試作機器等
について、協力できる施設・事業
所等を中心にモニター調査を行う。

- 介護現場と開発企業の意見交換(10件)
- 試作介護機器へのアドバイス支援(15件)
- 介護ロボット等モニター調査(10件)



普及・啓発

国民の誰もが介護ロボットに
ついて必要な知識が得られるよう
普及・啓発を推進していく。

- 介護ロボットメーカー連絡会議
- 介護ロボット等活用ミーティング(5か所)
- 介護ロボット全国フォーラム
- 介護ロボット地域フォーラム(6か所)
- 介護ロボット試用貸出リスト、試用貸出事業
- 介護ロボットの安全利用の推進 等



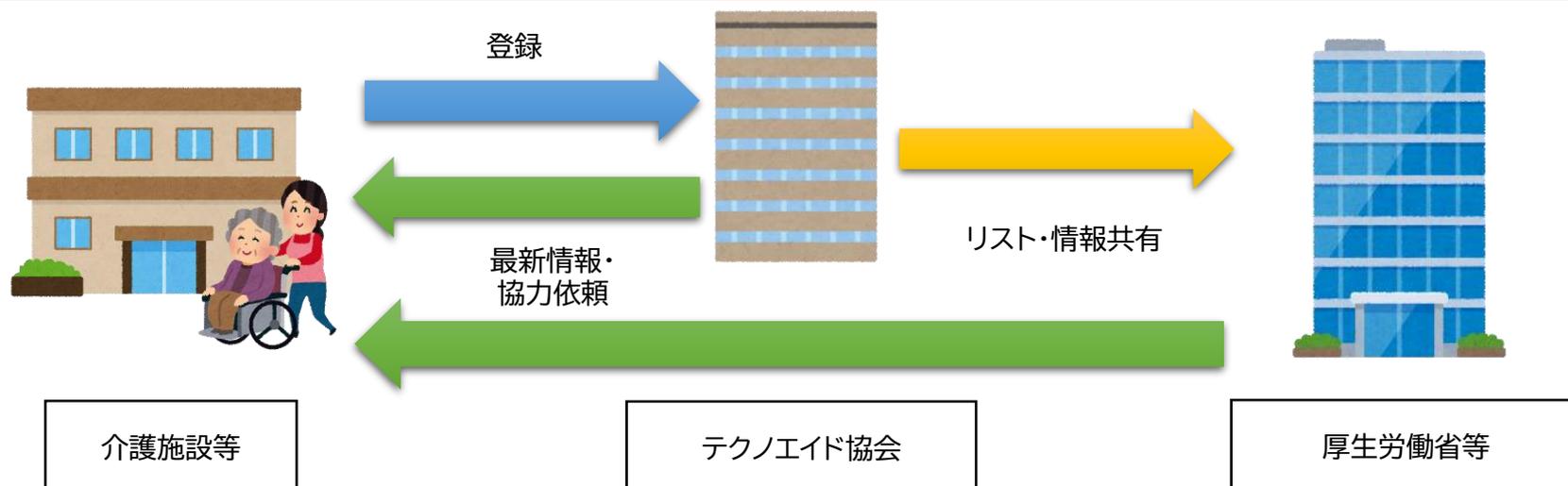
調査の実施

- 介護ロボットの開発・導入に係る助成事業の調査(5月、11月 年2回実施)
- 介護ロボット導入支援事業等に係る実態調査(11月頃)

福祉用具・介護ロボットに係る 開発・実証フィールドの整備

目的

介護ロボット等の開発・実証フィールドを募集し、介護ロボット等の開発及び、効果の検証等をより一層推進することを目的とする。



区分	件数
1. 介護施設等	1,143 件
2. 都道府県・市町村	127 件
合計	1,270 件

【リストの活用】

- 介護ロボットの最新情報を提供
- 登録情報を厚生労働省等と共有

【具体的な取り組み内容(令和4年度)】

相談窓口の設置

介護ロボットの活用や
開発等に関する相談
窓口を開設。

- 電話による相談
- 来協による相談
- オンラインによる相談



実証の場の整備

実証等に協力できる施設・事業所等を
リストアップし、開発の状態に応じて
開発等へつなぐ。

- ホームページにて募集
- モニター調査や開発実証フィールドへの
協力要請 (1,270か所)

アドバイスやモニター調査
の実施

開発の早い段階から試作機器等
について、協力できる施設・事業
所等を中心にモニター調査を行う。

- 介護現場と開発企業の意見交換(10件)
- 試作介護機器へのアドバイス支援(15件)
- 介護ロボット等モニター調査(10件)



普及・啓発

国民の誰もが介護ロボットに
ついて必要な知識が得られるよう
普及・啓発を推進していく。

- 介護ロボットメーカー連絡会議
- 介護ロボット等活用ミーティング(5か所)
- 介護ロボット全国フォーラム
- 介護ロボット地域フォーラム(6か所)
- 介護ロボット試用貸出リスト、試用貸出事業
- 介護ロボットの安全利用の推進 等



調査の実施

- 介護ロボットの開発・導入に係る助成事業の調査(5月、11月 年2回実施)
- 介護ロボット導入支援事業等に係る実態調査(11月頃)

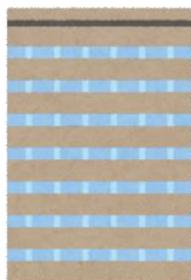
介護ロボットメーカー連絡会議

開発企業を集め、今後の開発・普及の参考となる情報を提供する

テクノエイド協会

最新情報の提供

開発企業



- 国における施策の動向
- 実用化支援事業の概要
- プラットフォーム事業の紹介
- リビングラボ・相談窓口の実施内容
- 開発・普及の最前線



【令和4年度の実施結果】

開催日時	6月17日(金) 10:00~14:40
開催方法	会場とWeb(Zoom)のハイブリッド開催
参加申込数	会場72名・Web214名(事前登録)

介護ロボット等活用ミーティングの開催について

目的

介護ロボット等の導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護ロボット等の効果的な活用を促し、働きやすい職場環境の構築を目的とする。

11月				
14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
テクノエイド協会からオンライン配信いたします。				
開催テーマ				
A	B	C	D	E
介護機器等を活用した <u>生産性向上の取組み</u> を考えよう	介護機器等の <u>安心・安全な利用</u> を考えよう	介護機器等を活用した <u>介護者の負担軽減、離職防止</u> を考えよう	介護機器等の <u>導入に伴う経営・費用対効果</u> を考えよう	介護機器等と <u>LIFEのデータ連携、重度化防止</u> を考えよう

【参加申込数】

14日	15日	16日	17日	18日
130名	90名	123名	102名	90名

セッション1

- 介護ロボット等に関する最新情報
厚生労働省
- 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム 相談窓口の取り組み
NTTデータ経営研究所
- 利用に伴う工夫や課題、アイデア等
介護施設・企業等

個人ワーク

- 現状と課題、発言内容の整理

セッション2

- フリーに意見交換や情報交換を実施

介護ロボット地域フォーラム

目的

「介護ロボットの開発・実証・普及プラットフォーム事業」の相談窓口が無い都道府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う。

●実施内容：地域の実情やニーズに応じ、必須項目と任意項目から計画すること

(1) 必須事項

① 介護ロボットの展示

※10機種程度

② 試用貸出の受付

※全国の相談窓口に連絡

③ シンポジウムの開催

- 開催地の導入支援の紹介
- プラットフォーム事業の紹介
- 最新動向の情報提供

(2) 任意事項

福祉用具・介護ロボットの導入、利活用に関する地域の実情やニーズに応じて企画立案して差し支えない。

(例)

- 導入の好事例紹介
- ワークショップ
- 生産性向上やコロナ対応

介護ロボット地域フォーラムの協力機関

開催日	地域	協力機関	開催場所
10月8日(土)	石川県	一般社団法人日本福祉用具供給協会 石川県ブロック	石川県産業展示館
10月11日(火)	長崎県	公益財団法人ながさき地域政策研究所	長崎県立総合体育館 メインアリーナ
10月16日(日)	佐賀県	佐賀県在宅生活サポートセンター	さがサポセンター いきいき館
11月25日(金)	長野県	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会	JA長野県ビル
1月12日(木)	静岡県	公益財団法人介護労働安定センター 静岡支部	静岡グランシップ
1月14日(土)	山口県	社会福祉法人暁会 (共催:脳神経筋センターよしみず病院)	海峡メッセ下関 国際会議場

介護ロボット地域フォーラムの実施結果

○展示体験の様子(石川県)



○シンポジウムの様子(石川県)



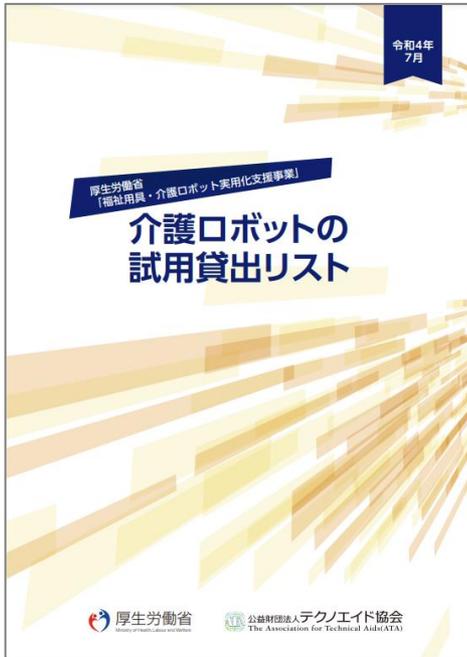
○展示体験の様子(長崎県)



○シンポジウムの様子(長崎県)



介護ロボットの試用貸出リスト(令和4年7月作成)

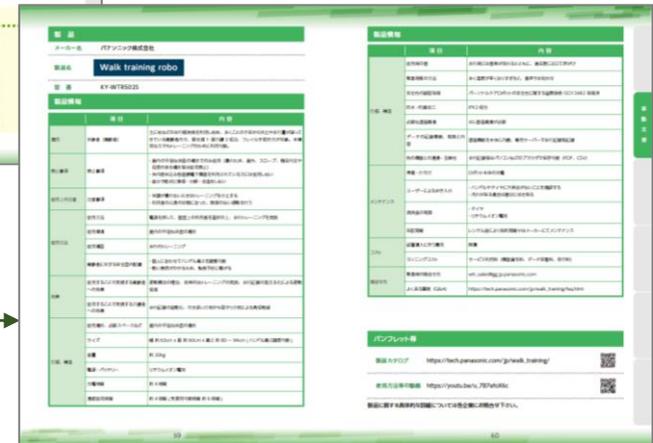


○ 掲載企業:64社

本リストは、厚生労働省が実施する介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の相談窓口において、**開発企業と試用貸出を希望する介護施設等の取次等で活用される**。また、協会ホームページ等で広く周知する。



製品の詳細
使用方法・禁忌事項
仕様・構造・コスト 等



福祉用具等の安全利用に関する整理・報告・発信

目的

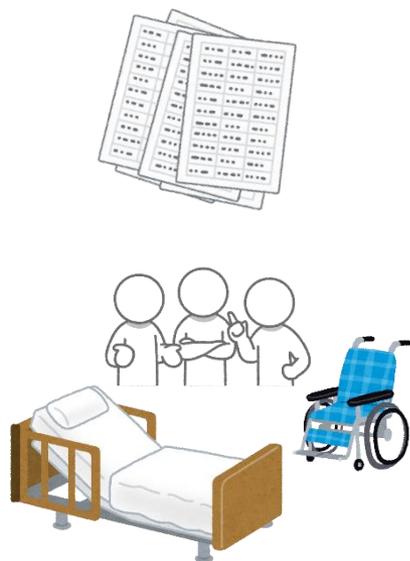
福祉用具等の利用にかかわる「事故及びヒヤリハット情報」を収集し、介護現場で起こる可能性のある事故や怪我などを未然に防止するため、事例を作成し発信する。

製品事故

- 消費者庁
- 製品評価技術基盤機構(NITE)

利用上の事故

- 市町村
- 介護サービス事業所・関係団体



情報収集・共有
要因の分析、加工、事例の作成

情報提供・発信



【具体的な取り組み内容(令和4年度)】

相談窓口の設置

介護ロボットの活用や
開発等に関する相談
窓口を開設。

- 電話による相談
- 来協による相談
- オンラインによる相談



実証の場の整備

実証等に協力できる施設・事業所等を
リストアップし、開発の状態に応じて
開発等へつなぐ。

- ホームページにて募集
- モニター調査や開発実証フィールドへの
協力要請 (1,270か所)

アドバイスやモニター調査
の実施

開発の早い段階から試作機器等
について、協力できる施設・事業
所等を中心にモニター調査を行う。

- 介護現場と開発企業の意見交換(10件)
- 試作介護機器へのアドバイス支援(15件)
- 介護ロボット等モニター調査(10件)



普及・啓発

国民の誰もが介護ロボットに
ついて必要な知識が得られるよう
普及・啓発を推進していく。

- 介護ロボットメーカー連絡会議
- 介護ロボット等活用ミーティング(5か所)
- 介護ロボット全国フォーラム
- 介護ロボット地域フォーラム(6か所)
- 介護ロボット試用貸出リスト、試用貸出事業
- 介護ロボットの安全利用の推進 等



調査の実施

- 介護ロボットの開発・導入に係る助成事業の調査(5月、11月 年2回実施)
- 介護ロボット導入支援事業等に係る実態調査(11月頃)

介護ロボットの開発・導入に係る助成調査の実施結果

介護ロボットに係る助成について、開発企業が役立つ情報(シーズ側)と、介護施設が役立つ情報(ニーズ側)の双方の側面から全国調査を行い、その結果を都道府県ごとにまとめた。

●開発助成制度の調査結果: 87件

No.	都道府県	掲載件数	No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	3件	26	京都府	3件
2	青森県	5件	27	大阪府	1件
3	岩手県	0件	28	兵庫県	1件
4	宮城県	3件	29	奈良県	1件
5	秋田県	1件	30	和歌山県	1件
6	山形県	1件	31	鳥取県	1件
7	福島県	6件	32	島根県	5件
8	茨城県	1件	33	岡山県	1件
9	栃木県	1件	34	広島県	2件
10	群馬県	2件	35	山口県	1件
11	埼玉県	1件	36	徳島県	0件
12	千葉県	1件	37	香川県	0件
13	東京都	2件	38	愛媛県	0件
14	神奈川県	5件	39	高知県	1件
15	新潟県	4件	40	福岡県	3件
16	富山県	2件	41	佐賀県	1件
17	石川県	1件	42	長崎県	0件
18	福井県	1件	43	熊本県	2件
19	山梨県	4件	44	大分県	1件
20	長野県	1件	45	宮崎県	0件
21	岐阜県	2件	46	鹿児島県	1件
22	静岡県	4件	47	沖縄県	0件
23	愛知県	1件	48	全 国	2件
24	三重県	0件			
25	滋賀県	1件			

※令和4年11月時点

●導入助成制度の調査結果: 61件

No.	都道府県	掲載件数	No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	3件	26	京都府	2件
2	青森県	1件	27	大阪府	1件
3	岩手県	1件	28	兵庫県	1件
4	宮城県	2件	29	奈良県	1件
5	秋田県	1件	30	和歌山県	2件
6	山形県	1件	31	鳥取県	1件
7	福島県	2件	32	島根県	1件
8	茨城県	1件	33	岡山県	4件
9	栃木県	1件	34	広島県	1件
10	群馬県	2件	35	山口県	1件
11	埼玉県	2件	36	徳島県	1件
12	千葉県	2件	37	香川県	1件
13	東京都	1件	38	愛媛県	1件
14	神奈川県	8件	39	高知県	1件
15	新潟県	1件	40	福岡県	3件
16	富山県	1件	41	佐賀県	1件
17	石川県	1件	42	長崎県	1件
18	福井県	0件	43	熊本県	1件
19	山梨県	1件	44	大分県	1件
20	長野県	1件	45	宮崎県	1件
21	岐阜県	1件	46	鹿児島県	1件
22	静岡県	1件	47	沖縄県	1件
23	愛知県	1件			
24	三重県	1件			
25	滋賀県	1件			

※令和4年11月時点

開発・導入助成調査の実施結果 個票(北海道の例)

【開発助成制度 調査結果】 企業が開発に役立つ助成制度を閲覧できる

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R4予定	R3実績	連絡窓口	
1	ものづくり開発推進事業	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	採択枠6件のうち、介護関連製品の開発枠については2件の枠を設置し、開発に関する費用について支援	下記の要件を満たす中小企業者、組合等。 (1)「さっぽろ連携中核都市圏」を構成する市町村の区域内に本社を有する企業 ※「さっぽろ連携中核都市圏」を構成する市町村は以下のとおり。 札幌市と連携市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、真沼町） (2) 設立後1年以上経過し、事業を継続して実施する見込みがあること	補助対象経費の2/3を補助	1次募集：2022年4月11日～5月13日 2次募集：2022年5月24日～6月24日	採択件数：2件 総額（予定）： 10,000,000円（1件当たりの上限額 5,000,000円）	採択件数： 2件 総額： 10,000,000円	部署	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター ビジネスソリューション支援部
									担当者	桑田、橋山、町田
									電話番号	(011) -792-6119
									FAX番号	(011) -747-1911
									E-mail	hcluster@noastec.jp
									HP_URL	https://www.noastec.jp/web/search/02/details/mono_03.html

【導入助成制度 調査結果】 施設が導入する際に役立つ助成制度を閲覧できる

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R4予定	R3実績	連絡窓口	
1	介護ロボット等導入支援事業	北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課	介護従事者の負担軽減及び介護業務の効率化に資する介護ロボット・ICTの購入等の経費について、予算の範囲内で補助する。	介護保険法に基づく介護サービス事業者の指定・許可を受けた北海道内に所在する事業者	介護ロボット・ICTの購入、リース契約に係る経費とし、保険料、消費税及び地方消費税は含まないものとする。	・事前協議 R4.7.19～8.19 R4.10.12～10.28 (募集終了) ・交付申請（事前協議書類を提出し、内示を受けた事業者のみ） R4.10.3～10.31 ※2国目の交付申請受付期間は未定	採択件数：未定 総額（予算）： 1,202,160,000円	採択件数：310件 総額： 477,608,000円 ※令和4年度に繰越した分は除く	部署	高齢者保健福祉課介護人材係
									担当者	
									電話番号	011-204-5272
									FAX番号	011-232-8308
									E-mail	hofuku.kouhuku1@pref.hokkaido.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/119702.html

介護ロボット導入支援事業の実態調査の実施

地域医療介護総合確保基金を活用した介護ロボットの導入支援

令和4年度予算：地域医療介護総合確保基金（介護従事者確保分）137.4億円の内数

- 目的…介護ロボットを活用した介護事業所の生産性向上の取組を通じて、ケアの質の維持・向上や職員の負担軽減等を図る。
- 実施主体…都道府県

補助対象

※令和2年度(当初予算)以降の拡充分(下線部以外)は令和5年度までの実施

- 介護ロボット
 - …移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り、入浴支援など、厚生労働省・経済産業省で定める「ロボット技術の介護利用における重点分野」に該当する介護ロボット
- 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備
 - …Wi-Fi環境の整備、インカム、見守りセンサー等の情報を介護記録にシステム連動させる情報連携のネットワーク構築経費 等

補助内容

● 補助額

介護ロボット (1機器あたり)	・ 移乗支援(装着型・非装着型) ・ 入浴支援	上限100万円
	・ 上記以外	上限30万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備 (1事業所あたり)		上限750万円

● 補助上限台数

…必要台数(制限の撤廃)

● 補助率

…都道府県の裁量により設定
(一定の要件を満たす場合は3/4を下限、それ以外の事業所は1/2を下限)

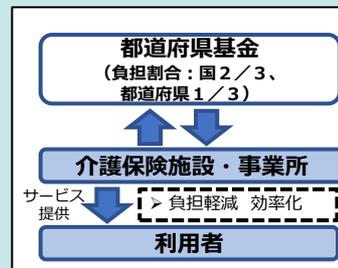
(一定の要件) …以下のいずれかの要件を満たすこと

- ・ 導入計画書において目標とする人員配置を明確にした上で、見守りセンサーやインカム、介護記録ソフト等の複数の機器を導入し、職員の負担軽減等を図りつつ、人員体制を効率化させる場合

■ 対象となる介護ロボット (例)



■ 事業の流れ



■ 実績 (参考)

- 実施都道府県数：45都道府県 (令和2年度)
- 都道府県が認めた介護施設等の導入計画件数

H27	H28	H29	H30	R1	R2
58	364	505	1,153	1,813	2,574

(注) 令和2年度の数値はR3.1月時点の暫定値
※ 1施設で複数の導入計画を作成することがあり得る

ご清聴ありがとうございました。

介護ロボットの相談も承っています。

【お問い合わせ先】

公益財団法人テクノエイド協会 企画部

電話:03-3266-6883 メール:robocare@techno-aids.or.jp

テクノエイド協会

検索 ↗